



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

コート担当番担当クラブ

7月: 8月の恩多 A

8月: 9月の本町 B

9月: 10月の青葉 A

発行責任者 柳 利夫
住所 東村山市萩山町
5-6-26-301

編集責任者 黒岩俊雄
TEL. 0423-95-4336

《第4回運営委員会報告》

'88.6.19 PM 1.00~2.00
杉スポーツセンター 小会議室

I. 活動日誌について

ス米川コートでの定期練習時に名前や練習試合のスコアなどを記入する「活動日誌」は6月25日から新しいものに致します。

II. 夏季合宿について

ここ数年、市民テとして夏季合宿は、関係者の労多くして実リツなしということをやっているが、今後会員のなかより大きな声となれば前向きに検討したい。

III. 第12回、対相崎戦について

[硬庭連より]

日時: '88.7月30・31日
場所: 新潟県相崎市
選手団: 10~20名(男女計)
費用: 硬庭連と各クラブ負担(個人負担をなくす方向である)
練習: 昨年は最強メンバーと自負していたが敗れたので下記要領で強化合宿をやりませう。⇒指導者講習会参照

IV. ス米川コートの手入れについて

市民テの皆さんは、日頃より愛するテニスコートの整備に心がけておりますが、最近コートの痛みがひどいので行政側へも要請致しますが雨上がりなど整備すべき条件があれば、かりローラーをかけたから使用するようお願い致します。

《相崎市に行きませんか》 [技術部より]

選手に選ばれなかった方で、親睦試合や旅行を兼ねて相崎市に行きたい方は、7月15日までに武谷に申し込んで下さい。

日時: 7月30(土)・31(日)
費用: 約25000円、但し半額「市民テ」で補助。
募集人数: 数名(但し、全額自己負担しても行きたい方はこの人数には入っていません。
宿舎: ユースホステル(新築で海岸に面しています。そこで海水浴可)
内容: 30日は親睦試合、夜は懇親会。
31日は本戦及び親睦試合。(計画中)

《指導者講習会のお知らせ》 [硬庭連より]

7月16、17日、森清吉氏及び朝日生命コナ陣による中級以上を対象にしたレッスンがあります。詳しくは、各クラブの会長にお問合せ下さい。

《第12回太田杯女子団体戦結果》

恩多クラブ ますます連勝!

優勝: 恩多クラブ
準優勝: 青葉クラブ B
第3位: 金曜会 A
木星会

《各クラブのうごき》

“合宿”希望者よ来られ!! 本町クラブ

'88.8.5~6 AM 6:00 出発

涼しい 軽沢「西軽山荘」で

日中はテニス 三味

そして夜は、星空の下で バーベキュー

他のクラブの方もどうぞご参加下さいませ。

申込み×切 7月26日

くわしくは、三安会長まで

美住クラブと合宿を致します。

'88.8月20・21・22日

山中湖方面で美住クラブ員で

会員の動き

《美住クラブ副会長 石橋さんブラジル国へ》

あの独特なサウスポーからくり出すアハンドストロークが見られなくなるのは誠に残念!! 見知らぬ外国、健康には十分注意され元気に活躍されませう。

今日のテニスショップフジによる
用具指導は 17日(日曜日)
10時から行います。

コートにおける現代新用語集(2) ATT編集部

☆先端技術

スウィート・スポットを使わないで、ラケットの先端で打ちそんじることによって、相手の意表をつくハイテク技術。ただし、「偶然も技のうち」などと自分を励ますことが大切。

☆周辺技術

先端技術に付随して開発されたハイテク技術で、ラケットの周辺で打つ技術。効果は先端技術とほぼ同じ。決して、自分でびっくりしたりしないことがやはりこの技術を支える。

☆アバウトテニス

おおよそ感覚でのテニスをいう。ボールが入って欲しければ、地面につく前に、できるだけ大きな声で「ナイスショット!」と叫び、出て欲しいときには、同じくボールが着地する前に「アウト!」と叫ぶ。敵がフォルトしたとき、未練がましく「どのくらい?」などときけば、だいたい2~3倍の距離(たとえば10歩であれば、25歩など)を常にいうようにする。

☆ハシモトセイコー

ラケットの「はしっこ」や「ねもと」で打って、たまたま、成功(セイコー)したような場合、これを「橋本聖子(ハシモト・セイコー)」という。

また、「足下(あしもと)」をすどくついて、成功した場合も、若干なまるが同様にいう。

スマッシュなどで、先端・周辺技術を駆使し、一見不味い(まずい)プレーながら、存外な成功をおさめたときはこれを「松田聖子(まずった・セイコー)」という。

☆ハラタツノリ

「巨人の4番のくせになにやってんだ!」などと野球観戦しながら腹を立てているひとがいますが、テニスをしていてもやたら腹を立てているノリのひとがいます。あれが本当の「ハラタツノリ」

☆怒りノランボー

シルベスタ・スタローン扮する勇者ランボー、ならいいのですが、自分の思い通りに球がコントロールできないと、ついラケットを放りなげる乱暴者。ラケットに当たらず、自分の未熟さをもっと静かに自覚しなさい。

☆財テク

怒りのランボーから、はっと気がついた時は2万なにがしかのラケットはおしゃか。そんな経験が人間を賢くします。放りなげる寸前にラケットを抱えセーフ。「あー危なかった。これで2万円儲かった」これがテニスで財産を減らさないテクニク、すなわち財テクなのであります。

☆アフター5

夕方5時までテニスをし、後はしっかりビールを飲む。テニスはなんのため。健康のため、いやいやもちろんビールのため。ふつう「アフター・ファイブ」というが、ビール飲み飲み、囲碁など楽しむときは「アフター・ご」ともいえる。

(文責・S&U)

私とテニス

今、テニスをやっていて幸せを感じています。テニスに出会う前はボウリング全盛時代、自分の体型(短足で床にボールを転がしやすい)にあったスポーツは「これだ」ということでありつた。金の時間とをかけて専念。そのおかげで新職員関東大会優勝、会社対抗優勝etc.年間アバレッジ185、インストラクターのテストを受けた)で夢中でした。その内ボウリングも下火になり仲間も1人、2人と月1のゴルフに転向していく中で、自分も、姉が夢中になっていたテニスをやることにしました。ラケットの持ち方もわからず、あちこちのコートを求めてボールを飛ばしに通いました…。こちらにお世話になる前に東久留米下里団地のテニスクラブに入れてもらい、そこで初めて実業団で活躍している方からテニスを教えてもらいました。そのクラブはレベルは低かったのですが、皆、気のいい仲間。練習後はビールを囲んで反省会(?)、テニスの楽しさを知らされました。東村山に家を持つことになったのも、その仲間からなるだけ離れたくないというのが最大の理由でした。

昭和54年4月にこの市に移って来、阿辺川土人の率いる水曜(今はどんぐり)クラブにお世話になり、1年後に市民テにようやく入会することができました。

入会してまず感じたことは、充実している(1月中コートを使用できる、活気がある、コーチがいる)ということでした。回りの人達が皆素晴らしく見え、早く仲間に入れてもらいたく、家庭の都合でコートにわずかしらべられない時間の中で、教えられることはハイ、ハイと懸命でした。振り返ってみると、力もないのにいろいろな事をやらせていただいたり、いろいろな大会に出させていたとき、その度に回りの方々からいろいろな事を教えていただいたとき、感謝々々8年間でした。太田先生、本井先生、初め、いろいろな方からテニスの素晴らしさを教えていただきました。私も後援ですが、テニスを初めようという人達に少しでもそれを伝えていければと思っています。又、テニスを通して良い仲間作りを先して頑張っていくつもりです。

思多クラブ 菊池 裕